

令和元年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

函城中学校区 校番 19 学校名 呉市立函城小学校

a 学校教育目標	① 「心豊かに、自立する」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) 本校の存在意義は、郷土愛を持つ自律した児童を育成するため、地域や保護者との協働のもと、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進することである。 (ビジョン)(将来の学校像) 教職員が力を合わせ、児童の力を伸ばし、共に高まる活力ある学校をめざす。
----------	---------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本中学校区では、二川教育プランにおける3部会を取組をより具体的に示し、各部の協働により学力・体力の向上と豊かな心の育成を図ってきた。今年度も昨年度までの取組を継続し、「自ら進んで学び合い、認め合う児童生徒の育成」をめざし、意欲を高める教育活動を行っていくために、仮説をたて、より具体的に実践していく。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	○知識・情報 ○課題発見・解決力 ○思考力・判断力・表現力 ○自己理解・他者理解 ○主体性・積極性 ○協調性・柔軟性
-------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
確かな学力の向上 ①	確かな知識・技能の習得と、活用力(思考力・判断力・表現力)を身に付けた児童の育成を図る。	主体的に問題解決に取り組む児童の育成を図る。	二川授業スタイルを基盤とした授業改善を行い、思考を働かせる場を取り入れた「考える授業づくり」を行う。	算数科において、自分の考えがどう深まったかをふり返り、ノート等にも書いている児童の割合 算数科の観点、数学的な考え方を問う問題の正答率80%を越える児童の割合	80	88	110	A	83	104	A
					低	低	低	低	低	低	低
					85	88	103	A	88	103	A
					高	高	高	高	高	高	高
					80	54	66	C	44	55	D
豊かな心の育成 ①	自他を大切にしながら共に高め合う児童の育成を図る。	学校生活をよりよくするために、相手を思いやり、気づき・考え・行動できる児童の育成を図る。	たてわり班活動や、学級間の交流等、異学年交流を充実させる。 ふり返りを徹底し、生活目標等を意識した行動をさせる。	アンケートで異学年交流が楽しいと答えた児童の割合 毎月の「生活目標ふり返りシート」での達成率	90	92	102	A	93	103	A
					80	76	95	B	82	102	A
健やかな体の育成 ①	体力向上と健康増進の意欲を高める。	体力づくりと健康増進の場の設定と充実を図る。	課題意識を持って、「走る」力を伸ばすための活動を充実させる。 生活リズムカードを活用し自らの生活を振り返らせ規則正しい生活を意識づける。	50m走の記録が県平均を上回っている児童の割合 早寝ができていない児童の割合	80	60	75	C	71	89	B
					80	69	86	B	66	83	B

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	行事を見直し、1つ以上削除もしくは内容は変更をする。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80	44	56	D	67	84	B
		長時間勤務の削減	毎日退校目標時刻を設定するとともに、週1回定時退校日を設ける。	時間外勤務が月80時間以内の教職員の割合	100	100	100	A	100	100	A

[k:評価]
 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60